

2020年度

大学院文学研究科博士課程前期2年の課程入学試験

(秋期・一般選抜) 問題

専門科目Ⅰ 日本思想史 専攻分野

試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけない。

2020年度

大学院文学研究科博士課程前期2年の課程入学試験

(秋期・一般選抜) 問題

専門科目Ⅰ (日本思想史 専攻分野)

一、今後研究しようとするテーマの思想史学上の研究意義について論じなさい (20行程度)。

二、次の①～④について簡潔に説明しなさい (各3～4行程度)。

① 民衆宗教論

② 大正デモクラシー

③ 閨斎学派

④ 院政

三、次の史料をわかりやすい現代語に直しなさい (30行程度)。

チンペンカン…知らず 儒学者の中
華崇拜の批判。以後、徂徠学派の中
華崇拜の傾向がますます増大する。
無点の唐本 和訓のない白文の漢籍。
声の随より天上の眺め 諺「葦の袖
から天井を覗く」。
三国の伝文 天竺・支那を経て日本
に伝わった経文。仏書。
古人の糞粕 古人の言い古したこと。
本来「糞粕」とあるべきか。
鋸屑の言い残し 諺に「鋸屑も言へ
ば言はるる」。物事は何でも理屈
はつけられる、その理屈の言い残し。
山の奥は人里 諺。「山の奥にも風
は吹く」とも。どんな山奥へ入って
も人間の住家があって、浮世からは
離れられぬ。
本覺の仏・法性の神 絶対真理とし
ての神仏。
真如実相 仏語。ありのままの姿。
陰陽不測 『易経』繫辭上伝に「陰陽
不測之謂神」。
始成の仏・有覺の神 始めて悟りを
開いた、信仰対象としての神仏。
易の序の卦の伝 『易経』序卦伝に
「有天地、然後有万物、有万物、
然後有男女、有男女、然後有夫
婦」。
老・孔・列 老子・孔子・莊子。
列子。儒教や老莊。

一 つらく思ひ置るに、何事にはよらず大きに過たと及ばざるとにて、道は損ね
誠は失ふか。智者は過たりとは、彼チンペンカンに泥て無点の唐本読む手柄咄に、和
国の近道なる教へを俗に落ると嫌ひて、足本の明るさを知らず。愚者の及ばざるは、一文
不通にして声の随より天上の眺めして、協目振らざるから物に驚き事に蹟く。惡を懲らし
善を勧むるの教へ、和漢の両書・三国の伝文、車は万輛に積牛は千疋も汗かくべし。善言
は古人の糞粕なれば、博識人の涎を舐めても益なき事ながら、鋸屑の言い残しもあらばと、
庭を舐み掃溜を探して尋ね求れば、山の奥は人里にて、又本の人倫の道ならで何事をか言
ふべき。

凡 人の道の起りは、夫婦よりぞ始まる。夫本覺の仏は形なく、法性の神に姿なし。
則 真如実相・陰陽不測にして、またみな天地の間に形あるものは、此神此仏の姿なり。
今世に拝み敬ふ神仏は、父母ありて生れ出させ給ふなれば、始成の仏・有覺の神と申奉
る。すれば男女・夫婦の情を離れ給ふ事なし。易の序の卦の伝に曰、「天地あつて 然後
男女あり。男女あつて 而夫婦あり」と。其後神も仏も聖人も出給ふ事ぞ。男女の形出
来るまでは造化の妙にして、交合の情は人の作業に成れば、人道立ての仏法・神道、老・
孔・莊・列なり。然らば夫婦を世の根源と知れたる歟。その夫婦和せずして、一日も道あ
るべからず。道なければ誠なし。誠なければ世界は立ず。件根本たる夫婦の事の疎かに成
行ば、道も誠もなくなりて、後は孝も失せ思も絶なんずらんと悲し。

受験記号番号

$$\frac{2}{6}$$

受験記号番号

 $\frac{3}{6}$

受験記号番号

 $\frac{4}{6}$

受験記号番号

 $\frac{5}{6}$

受験記号番号

6/6